



展覧会を通して育てたい力

副校長 村上千尋

日本には、世界に誇る伝統工芸品があります。「もの」や「ものづくりをする人」を大切にするという精神が、江戸時代に世界に類を見ないほど発展したりサイクル技術に結びつきました。また、ステイーヴ・ジョブズは、日本の新版画や日本文化との出会いから、製品に対する独自の美意識をもつに至ったことは有名です。ものづくりの精神は今の日本の子どもたちにも受け継がれています。

展覧会の果たす役割は、大きなものでは、①想像力の育成②ものづくりや表現活動に対する達成感を生むこと③他者の視点や個性を尊重すること④兄弟学年で「ギャラリートーク」を行い、自分のよさを伝え合い認め合う場を設定し、他者との協働のよさを感じる⑤表現する技術や知識を向上させること⑥保護者や地域社会との交流など、「ものづくり」を通して、児童の総合的な成長を支えるという大切な役割を担っています。

今年度も図画工作科・家庭科の専科教員を中心に、上記の力を育てるために様々な工夫をしています。



子どもたちが、自分自身の成長を実感できる機会となるよう願っています。

今月の主な予定

*詳しくは学年だよりをご確認ください。

★スクールカウンセラーの勤務曜日

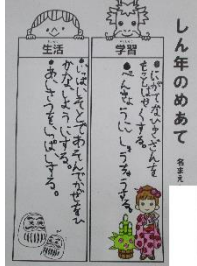
月曜日(廣内 SC)・火曜日(川上 SC)・水曜日(池田 SC)・木曜日(柴原 SC)

2/3	月	全校集会
2/4	火	健康指導 イングリッシュルームの日
2/5	水	安全指導
2/7	金	5.6年 委員会活動
2/10	月	避難訓練
2/12	水	展覧会開始
2/15	土	学校公開・展覧会
2/18	火	ともあそび
2/19	水	6年華道体験教室①
2/20	木	3年社会科見学 6年お茶会①
2/21	金	4.5.6年クラブ活動 6年お茶会②
2/25	火	6年華道体験教室② 5年中学校体験授業
2/26	水	個人面談開始 6年華道体験教室③
2/27	木	6年生を送る会

学年の様子

1年生

「新年のめあて」を書きました。「元気に挨拶するのを頑張りたい。」や、「苦手な計算をはやくできるようにになりたい。」など、自分の目標をたて、新年の決意をすることができました。



2年生

生活科で学習している「作ってためして」では、作成したおもちゃを使って1年生と遊ぶ会を行いました。準備の時から、自分たちはこんなお店を開きたい!と、わくわくしながら準備をしました。当日は「1年生がたくさんお店に来てくれた。」と笑顔で終わることができました。



3年生

3年生は2週にわたり、「クラブ見学」に行きました。どのクラブも6年生を中心に楽しそうに活動していました。子どもたちは「入りたいクラブばかりで決められない。」「6年生と一緒にやれるなんてすごい。」と楽しみにしていました。



4年生

冬休みが明けて、久しぶりに会う友達と年末年始に何をしていたのか、楽しそうに話す児童の姿が多く見られました。

休み時間には、校庭や体育館で鬼ごっこやボール遊びなど、寒さに負けず元気に過ごしてほしいと思います。



5年生

少しずつ、最高学年への準備が始まっています。ともあそびでは下級生に、6年生へ送るメッセージカードの書き方を説明しました。また総合の授業では、近くの幼稚園・保育園の園児さんとの交流計画を立てています。どちらも年下の人たちに視線を合わせ、楽しく・わかりやすい活動にしようと頑張っています。



6年生

模擬選挙を行いました。架空都市の「東山地区」の区長選挙を行いました。3人の候補者の中から、投票する人を決めて、実際に投票しました。選挙について、体験を通して学ぶことができました。



2月の生活目標 ～代表委員会で話し合い、児童が決めています～

これまで代表委員会で話し合いを進めながら生活目標を決めてきましたが、毎月の振り返りの中で生活目標(週の目標)が達成できたかどうか実感しにくかったのではと話題になりました。そこで、毎週の目標をより具体的にし、一人ひとりが達成したと実感しやすい目標を週目標に設定し、月目標は次のように決めました。

【気持ちの良い学校生活をおくるために、色々なことを意識して生活しよう。】

生活指導部より

「上履きに記名を！」

本校では、上履きへの記名の徹底をお願いしています。

(つま先、かかとの2カ所)週末持ち帰った際にご確認ください。消えかかっているものや、記名がないものはお子さんや教員で記名することがありますのでご了承ください。



展覧会

展覧会委員会

4月から準備を進めてきた展覧会がついにゴールを迎えます。展覧会のスタートは4月です。4月からの一回一回の図工や家庭科の授業が積み重なり、約一年かけて展覧会は完成するのです。当日は、この一年間の努力の結晶のような作品が、体育館や多目的ホールいっぱいに飾ります。

展覧会は運動会や学芸会と同じくらい大きな行事ですが、その二つとは大きく異なる特徴があります。それは、目の前に「頑張っている本人」がいないことです。そこにあるのは、作品のみ。その作品がどれだけ苦勞してつくられたか、どれだけの思いが込められているのかは、一見分かりません。つくった人の表情が確認できないからです。そこで、「みる人」たちの「みる力」が問われます。「みる人」は、作品の良し悪しや上手い下手ではなく、この作品をつくった人がどのような思いをこめたのか、苦勞しているのはどこなのか、どんな材料や用具を使っているのか、色や形を工夫しているところはどこか…をよくみて見付ける必要があります。すると、それをつくっている人の姿がイメージできるようになります。ポコポコになった板から「何度も何度も苦勞して釘を打ったんだな」ということや、何層にも塗り重ねられた色から「自分の目指す色をつくるためにたくさん研究を重ねたんだな」など、よくみると小さなところにたくさんの努力やこだわりが詰まっていることが分かります。「みること」は「つくること」と同じくらい想像力を使うのです。

「つくること」「みること」を通して、図画工作科最大の目標である『つくり出す喜び』をたくさんの子どもたちが感じてくれたら…と考えています。1058人のこだわりが詰まった作品たちを、どうぞお楽しみに!!



健康トレーナーより

今年度より、子供たちが体を動かすきっかけになるような運動ができればと思い、中休みにリズム体操や短縄を実施しました。リズム体操は、音楽に合わせてリズム感やコーディネーション運動を取り入れた体操になっていて、子供たちも楽しそうに参加してくれました。短縄は、技を指定してみんなで30秒間跳ぶというやり方で実施をしました。低学年の参加が多く、「先生見て!」と、やる気いっぱいに参加してくれて私も嬉しかったです。これからも、運動が好きな人はもちろん、運動に苦手感のある人や普段体を動かす習慣がない人にとって、楽しく運動するきっかけになる取り組みにしていきたいと考えています。

家庭学習のすすめ

学習部

学習部では、家庭学習の目的は2つあると考えています。1つ目は「学習の習慣化」です。毎日家で机に向かう時間を作り、習慣化することで、子供たちが家でも学ぶ姿勢を身に付けていくことができます。家のどこで、いつ宿題に取り組むのか、約束が決まっていると子供たちも学習のリズムを作りやすいと思います。2つ目は「知識・技能の定着」です。学校の授業で学習した内容の復習や、繰り返しの練習が必要な文字の書き取り・計算など、継続して学習していくことでより確実に身に付けることができます。宿題以外の学習に取り組んでいる場合もあるかと思いますが、まず学校の宿題から取り組むようにすると、学校での提出物がきちんと整い、子供たちの自己肯定感や安心感につながると考えられますので、引き続きご協力よろしくお願いいたします。

ICT 学習用情報端末 (iPad) を活用した学習

ICT 推進部

2年生は、アプリ「ロイノート」を活用して、自分の考えをつくったり、共有機能を使用して自分と友達
の考えを比べたりして、自らの学びに生かしています。国語科「ことばを楽しもう」では、あいうえお作文
や回文を、書き方や色の工夫をして作り、楽しみながらことば遊びをすることができました。また生活科
「えがおのひみつたんけんたい」では、町や学校で働く人にインタビューしたことを基に、グループで話し
合って発表原稿を作成しました。iPad は、意見交換や考えをまとめるのにとても便利で、よい発表がで
きました。このように、学習内容に合わせて児童の学びにつながるように、ICT を活用しています。

